

『真光寺川 里親の会』通信

6月号 一通算第123号

2011年6月12日

今は昔・・長老が語る真光寺川の今昔

—その3・ヘビ、カエル等について—

今回は神蔵喜代勝さんにカエル、ヘビ等の話をききました。

最

近はカエルもヘビもとんと見かけなくなっちゃったな。昔は田植え時になると辺り一帯カエルの大合唱さ、あいつらは何処に消えちまったんだろうな。

春先、田圃や水溜まりにカンテンみたいな卵の固まりがみられるようになる。それが2~3週間でオタマジャクシに孵る。大蔵谷戸あたりにはうじゃうじゃいた。だがカラスに随分やられていた。ヒキガエルが多かったな。繁殖期になったら雄が雌を争って必死で闘っていた。ウシガエルはめったにお目にかからなかったな。ただあの間延びした鳴き声はよく聞いた。赤ガエルはよく食ったな。これは麦畑で捕まえ皮を剥いて焼くと結構香ばしくてうまかった。

へ

ビといえば先ずアオダイショウだろうな。当時、家は茅葺きだったので家に住み着いていた。梁の上に潜んでいてネズミを捕ってくれるので家の又シとして大事にしていたものだ。あれは小学校に上がる前のことだったから昭和22~23年のことだったかな。朝起きて井戸端に出ようと裏の戸を開けたとたんアオダイショウがいきなり額に噛みついてきた。相手も出合いがしらで驚いたんだろうな。こっちもびっくりして引きずりながら台所へ行った。それをお袋が見て悲鳴を挙げた。余程切迫した声だったんだろう、能ヶ谷橋のたもとの田圃にいたおやじさんがすっ飛んで来てやっつけてくれた。あのことは忘れられないな。



アオダイショウ

こいつはツバメやスズメもよく狙っていた。一度はこんなことがあった。家でカナリヤを飼っていた。当時は貴重で自慢の鳥だった。気がついたら籠を襲い呑み込んでしまっていた。胴の中ごろの部分がつっくり膨らんでいる。頭にきてしまって剃刀で引き裂いてやったところ脚がよきと出てきた。そこですっかり気色が悪くなってしまった。殺して下堰親水に捨てて行った。後で下堰に脚が生えた蛇がいたと評判だった。

マ

ムシも結構いたな。武相荘の下の谷戸辺りにいっぱいいた。頭が三角で首が細く草むらにとぐろを巻いていた。独特ないやな臭いがした。5~6月繁殖期になると危険だった。それを捕まえるのさ。バッタサミと呼んでいたが篠竹で作った道具で首根っこを押さえつける、そして頭から皮を剥いてしまう。大豆ほどの赤い臓物がびくびく動いている。多分心臓だろう。それを呑み込むのさ。生臭くうまいもんでもないが、滋養強壮剤と云う訳だ。胴はぶつ切りにしてこんがり焼く。固かったが香ばしかった。マムシ酒にしようとして一升瓶に入れておいたところ朝起きたら5~6匹の子供を産んでいたこともあった。

年に一人か二人はマムシに咬まれる人がいたな。都南金物の前にあった中根医院で急いで血清注射を打ってもらう。院長は軍医さんだった。それでも咬まれたあとがきたない縞模様が残るヒルに血を吸わしたりしていたが、果たして効果はあったのだろうか。

ヤマカガシ、シマヘビ等もいっぱいいた。真光寺川の流れをすする泳いでいるのをよく見かけたものだ。

カ

メはイシガメがいたが臭かった。最近見かけるスッポンやアオガメはいなかった。カニはモズクガニが流れのあごにいたな。エビはなんと云ってもテナガエビだな。



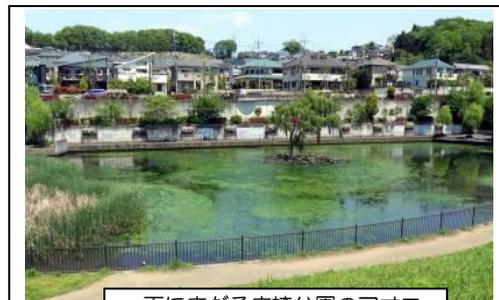
テナガエビ

麦わらの束の流れに浮べてやるとその下に寄ってくる。それは結構うまかった。ザリガニはいなかったな。小学6年生の時、ザリガニがいて聞いて鉄町の方まで捕りにいったことがある。

真 光寺川周辺の景色も変わってしまった。田圃がすっかりなくなってしまっていてやつらも居場所がなくなってしまったんだろうね。ヘビもカエルも特別好きなわけではないが、いなくなると寂しく思えるのも不思議なものだ。(文：山口 拓郎)

広袴調整池にアオコ大量発生

4月27日に広袴公園の調整池にアオコが大量発生したことは、前号の里親通信で報じられたとおりです。そのアオコは数日で消えてホッとしましたが、5月6日にはさらに大量に発生し池の表面の1/2以上を覆いました。7日、8日とさらにアオコは増え、8日には池の全面を殆ど覆い一部悪臭もしました。幸いにも11日の雨でアオコは池の底に沈み表面はキレイになりました。また発生しなければと願わずにはおられません。



一面に広がる広袴公園のアオコ

アオコ(青粉)とは、富栄養化が進んだ湖沼等において微細藻類(主に浮遊性藍藻)が大発生し水面を覆いつくすほどになった状態、およびその藻類を指す。粒子状の藻体がたまたま水面に青緑色の粉をまいたように見えることから、「青粉(あおこ)」と呼ばれるようになったと考えられる。

被害：人間社会においては、湖沼自体の利用障害となる(例えば鯉をはじめとする養魚、淡水漁業、近隣の生活環境、親水、観光産業など)ほか、取水源として利用する水道水の異臭・異味の原因となったり、さらには人や家畜への健康被害も懸念される。また湖沼周辺の生態系など自然環境を損なうおそれも高い。(Wikipediaより)

(文：山本 隆治)

和光鶴小4年生一今年も「真光寺川研究」をスタート!

和光鶴小では、毎年4年生になると、1クラスは「鶴見川研究」もう1クラスは「真光寺川研究」を行っています。5月17日(火)天候曇り、9:30~11:00、池田先生のクラス35名と父兄8名が下堰親水で研究をスタートしました。今回は川に親しみ、魚を捕ることがねらいでした。思い思いに網や投網で奮闘しましたが、収穫は意外に少しかったです。それでも元気一ぱい川を楽しんでいました。これからの研究成果が期待されます。(文：山口 拓郎)

めだかポスト

5月は郵便振込で能ヶ谷7丁目の花城瞳様、沼田医院の沼田先生からのご寄付を頂いたほか、めだかポスト・見つめ会・一木会からのご寄付を合算して6,974円でした。清流の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

今回もお便りをいただきました

※以前は小さい魚がたくさん上から見えました、今はあまり見られませんね。川を散歩する時カワセミに会えないかな、ザリガニはいるかなと川をのぞき込みながら散歩しています。皆様、川の掃除ご苦労様です.....花城 瞳様(郵便振替で)

5月の清掃報告

5月8日、前日の雨が上がりさわやかに晴れ渡った清掃日となりました。総勢19名が参加し、21袋のゴミを拾いました。この日も水の透明度が低く下堰親水では底が見えない状態。しかし水が温くなったせいか、少ないけれども小魚が見えるようになりました。

7月の清掃日は10日(第2日曜日)です、一緒に川をきれいにしませんか・・

☆ スケジュール 9:30 下堰親水場 集合

09:30 開戸親水場~神明橋間の清掃

11:30 打ち合わせ(「いちよう会館」) 12:30 解散予定

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp